

HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査報告書
(平成24年度)

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究

研究代表者

加藤 真吾 (慶應義塾大学医学部)

研究分担者

今井 光信 (田園調布学園大学)

1. HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート調査（H24 年）

研究分担者	今井光信	（田園調布学園大学 神奈川県衛生研究所）
研究協力者	近藤真規子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	佐野貴子	（神奈川県衛生研究所微生物部）
	大野理恵	（神奈川県衛生研究所微生物部 HIV 研究班）
	岡部英男	（神奈川県衛生研究所）
	須藤弘二	（慶應義塾大学 医学部微生物学・免疫学教室）
	加藤真吾	（慶應義塾大学 医学部微生物部・免疫学教室）

研究概要

保健所等における HIV 検査体制の実状を把握し、また、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象とした HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

今回の全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所等の協力により、対象とした 585 か所（保健所及びその支所等）の施設中、481 施設（82%）から回答を得ることができた。

アンケート結果では、平成 24 年の 1 年間に、回答の得られた 481 施設中 480 施設で、85,540 件の HIV 検査が実施され、217 件（0.25%）が陽性であった。陽性 217 件中 204 件（94%）が保健所等に再来所して陽性の結果を受け取っており、また、その中の 148 件（68%）については、その後医療機関に受診していることが保健所等において確認されていることが分かった。また、感染症法に基づく届出に関しては、平成 24 年に陽性と分かった 217 件中の 135 件（62%）については自施設からの報告が行われていることが分かった。

即日検査の実施状況に関しては、平成 24 年に即日検査を実施した保健所は 314 施設（66%）と昨年とほぼ同じであった。また夜間・土日検査に関しても、夜間検査が 171 施設（36%）で、土日検査が 60 施設（13%）と、昨年とほぼ同じであった。全国的にみると検査相談の実施形態に関してはほぼ定常状態に達していることが分かった。

保健所以外の特設の検査相談施設を対象としたアンケート調査では、対象とした 25 施設中 21 施設から回答が得られ、平成 24 年 1 年間の検査件数は 26,926 件で陽性件数は 154（0.6%）であった。この中で陽性の結果を本人に伝えられたのは 144 件（94%）、その後医療機関に受診したことを確認できた件数が 127（82%）であった。

また、本アンケート調査を開始する一つのきっかけでもあった検査結果の誤通知の問題に関して、平成 24 年には 1 件の報告があった。この事例は、HIV 検査と同時に肝炎ウイルス検査も行ったケースで、全ての検査が陰性で、受検者には陰性の結果説明を行い問題はなかったが、その際に、肝炎ウイルス検査のみを受けて陰性であった他の受検者の結果通知書を渡してしまったというものであった。結果通知には間違いはなく実害はなかったが、その後は、結果通知書の番号確認等のチェック体制の強化により、再発防止に努めているとのことであった。HIV 検査とともに他の性感染症検査を行う保健所も多く、受検者にとって利便性が高まる一方、異なる種類の検査が並行して進行するため、検査相談の業務がより複雑化し、誤通知のリスクも高まっているものと思われる。誤通知の防止のためには、システムの見直しとともに、これら事例を参考としながら、一人一人のより注意深い対応が必要である。

A. 目的

保健所等における HIV 検査体制の実状を経年的に把握し、その充実を計るため、全国の全保健所等を対象に HIV 検査相談の検査体制・相談体制に関するアンケート調査を実施した。

B. 方法

全国の保健所およびその支所等 585 か所の HIV 検査相談施設と南新宿 HIV 検査相談施設等 25 の特設 HIV 検査相談施設を対象に、平成 25 年 1 月 5 日に HIV 検査相談に関するアンケート調査票（資料 1 参照）を郵送し、平成 25 年 1 月 21 日を締め切り日として、返送用封筒によりアンケート調査票を回収し、結果の解析を行った。

C. 結果

今回のアンケート調査では、全国の保健所等の 585 施設中 481 施設からアンケート結果が返送され、アンケートの回収率は 82%であった。また、特設検査相談機関については、対象とした 25 施設中 21 施設（84%）からアンケート結果を回収できた。

① 保健所における HIV 検査相談の実施率

回答のあった 481 保健所等施設の中で HIV 検査相談を実施している施設は 480 箇所（99.8%）であった。

② HIV 検査総数と陽性率

上記保健所等 480 施設で平成 24 年に行った HIV 検査相談の検査総数は 85,540 件で、陽性例は 217 例（0.25%）であった。

③ HIV 検査陽性者の結果通知と医療機関受診の把握率（図 2, 3）

HIV 検査陽性の 217 例において、受検者が陽性の確認検査を受け取りに再来所したのは 204 例（94%）であった。この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 148 例であり、陽性結果を伝えられた 204 例中の

73%、全陽性例 217 中の 68%であった。

④ HIV の確認検査陽性例の報告

HIV の確認検査陽性例の感染症法に基づく届け出に関しては、平成 24 年に陽性と分かった 217 件中の 142 件（65%）については自施設からの報告が行われており、残りは紹介先の医療機関に届け出を依頼していることが分かった。

⑤ HIV 検査以外の性感染症検査について

HIV 検査以外の性感染症検査に関しては 400 施設（83%）の保健所等で実施しており、その内訳は、梅毒検査 312（78%）施設、クラミジア抗体 225（56%）施設、クラミジア抗原 68（17%）施設、淋菌 34（9%）施設、B 型肝炎 313（78%）施設、C 型肝炎 291（73%）施設であった。今回の調査で、梅毒検査及び B 型肝炎と C 型肝炎のウイルス検査を実施している施設が 70%を上回っていることが分かった。

⑥ 即日検査の実施状況

即日検査のみ実施している施設が 188 施設（39%）、即日検査と通常検査を行っている施設が 126 施設（26%）、通常検査のみ行っている施設は 166 施設（35%）であり、65%の施設が即日検査を導入していることが分かった。

⑦ 土曜・日曜・夜間検査の実施状況

HIV 検査相談を実施している全国 480 保健所で、平日・昼間にのみ検査を行っている保健所が 249 施設（52%）、平日夜間検査を行っている保健所が 171 施設（36%）、土曜・日曜検査を行っている保健所が 60 施設（13%）であり、その比率は昨年・一昨年とほぼ同じであった。

⑧ 検査法と実施時間の組み合わせ

検査法と実施時間との組み合わせでは、通常平日の検査は 131 施設（27%）、通常夜間が 33 施設（7%）、通常土日が 2 施設（0.4%）であり、即日平日が 87 施設（18%）、即日夜間が 74 施設（15%）、即日土日が 27 施設（6%）であり、両検査平日が 31 施設（7%）、両検査

夜間が 64 施設 (13%)、両検査土日が 31 施設 (7%) であった。これら結果から、多くの検査施設がより利便性の高い検査相談の提供に努めていることが分かった。

⑨ 年間検査件数別の保健所分布

年間検査件数別の保健所分布に関しては、年間検査件数が 50 件未満の保健所数は 176 箇所 (37%)、50 件以上 100 件未満は 95 箇所 (20%)、100 件以上 200 件未満は 84 箇所 (17%)、200 件以上 500 件未満は 89 箇所 (18%)、500 件以上 1000 件未満は 27 箇所 (6%)、1000 件以上は 8 箇所 (2%) であった。

⑩ 年間検査件数別の保健所数

年間検査件数が 200 件以上の保健所数は 124 か所 26% であったが、そこで実施された検査件数は、検査総数の 78% を占めているおり、また、年間 500 件以上の施設は 8% であるが、それら施設における検査数は全検査数の 41% を占めており、この比率は昨年とほぼ同様であった。

⑪ 年間検査件数別の陽性率

保健所等の HIV 検査相談における陽性率は、平均では 0.23% であり、年間検査数別に調べると、検査数 50 未満及び 50-99 件の保健所では 0.24%、100-199 件の施設では 0.25%、200-499 件の施設では 0.24%、500-999 件の施設では 0.26%、1000 件以上の施設では 0.34% と検査数の多い施設では陽性率もやや高い傾向がみられた。

⑫ 予約制の有無

予約制の有無に関しては通常検査の実施設の 57%、即日検査の実施設の 82% が予約制を実施しており、またその場合通常検査では 37%、即日検査では 71% が上限をもうけていた。即日検査では検査の混乱を防ぐため、予め上限数を設定した予約制を採用している保健所が多いことが分かった。

⑬ HIV 検査の実施設

通常検査における、スクリーニング検査の場合、自保健所での実施が 16%、他の保健所

への委託が 8%、衛生研究所への委託が 42%、外部委託による検査は 33% であった。また、確認検査に関しては衛生研究所への依頼が 65% で、外部委託は 25% であった。

即日検査の場合、迅速検査の実施者は、自施設の検査職員が 66%、医師、保健師が 17% であった。

⑭ 結果説明について

結果説明の担当者に関しては、陰性時には医師が 45%、保健師が 68% であり、迅速検査陽性時には、医師が 84%、保健師が 75% で、確認検査陽性時には 99% とほぼ全ての施設で医師が担当し、76% で保健師も加わっていた。また、感染予防のための行動変容を働きかける相談に関しては、92% の施設において行われており、75% では全員に、23% の施設では、一部を対象に行われていた。陽性者への説明に関しては、全施設の 74% で説明資料を用意してあるとの回答であった。陽性者への説明のマニュアルについては 59% の施設であり、35% でなしと回答があった。

⑮ 特設検査相談施設における検査相談

21 箇所の特設検査相談機関での検査総数は 26,926 件で、陽性例は 154 例 (0.6%) であった。これら陽性例において、受検者が陽性の確認結果を受け取りに再来所したのは 144 例 (94%) であった。

また、この中で医療機関に受診したことが確認されている事例は 127 例であり、陽性結果を伝えられた 144 例中の 88%、全陽性例中の 82% であった。

⑯ HIV 検査結果の誤通知について

平成 24 年における誤通知事例としては 1 件の報告があった。この事例は、HIV 検査と同時に肝炎ウイルス検査も行っている保健所での事例で、HIV 検査、肝炎ウイルス (B 型、C 型) 検査、全ての検査が陰性で、受検者には陰性の結果説明を行い問題はなかったが、その際に、肝炎ウイルス検査のみを受けて陰性であった他の受検者の結果

通知書を渡してしまったというものであった。結果通知には間違いはなく実害はなかったが、その後は、結果通知書の番号確認等のチェック体制の強化により、再発防止に努めているとのことであった。

D. まとめと考察

平成 22 年のアンケート調査では、国民全体の関心が新型インフルエンザに向かうに伴い、HIV への関心が下がったことによる影響で、保健所等における HIV 検査相談数が減少傾向にあることが明らかになり、平成 23 年のアンケート調査では、3 月におきた東日本大震災の影響も重なり、検査数の減少傾向が続き、保健所等の検査相談施設での検査数は横ばいかやや減少していたが、今回の保健所アンケート調査においても検査数はほぼ横ばいの状況が続いていることが分かった。

今回行った全国保健所アンケート調査においては、全国の保健所の協力により、対象とした 585 の保健所等施設の 82%、481 施設から回答を得ることができた。

アンケート結果では、HIV 検査を実施している全国の 481 保健所等施設で、平成 24 年には 85,540 件の HIV 検査が実施され、そのうち 217 件 (0.25%) が陽性であった。この 217 件の陽性例のうち、204 件 (94%) が再来所して陽性の結果を受け取っており、その 148 件 (68%) については、その後医療機関に受診していることが保健所において確認されていることが分かった。検査数、陽性数、医療機関に繋がったことの確認ができた率等は、昨年の調査結果とほぼ同じであった。

また、HIV 検査相談の利便性の向上に関しては、即日検査や夜間、土日検査等受検者に利便性の高い時間帯の検査を実施している保健所等の比率がかなり高くなっており、通常検査で平日昼間のみの保健所は全体の 14%と少なかった。

また、本年は HIV 検査結果の誤通知事例については 1 件の報告があった。この事例は、

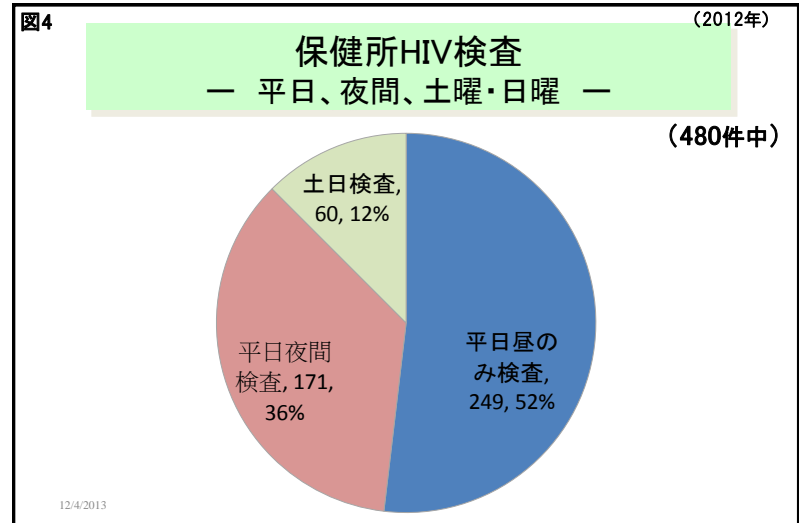
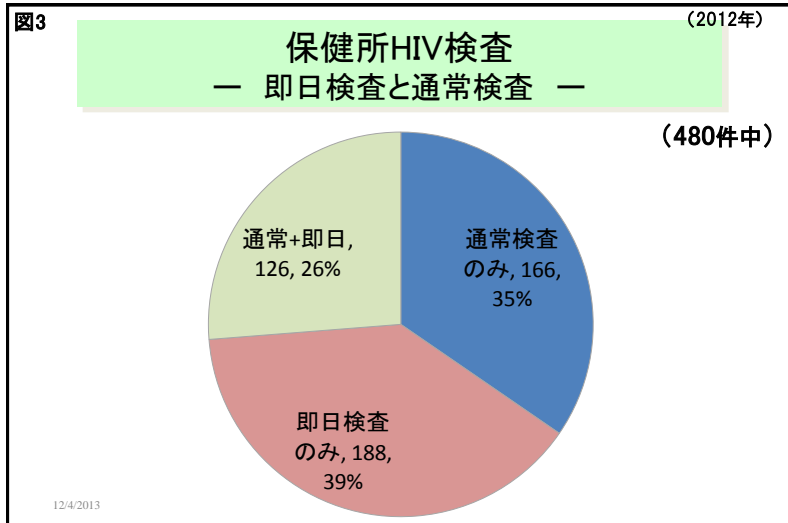
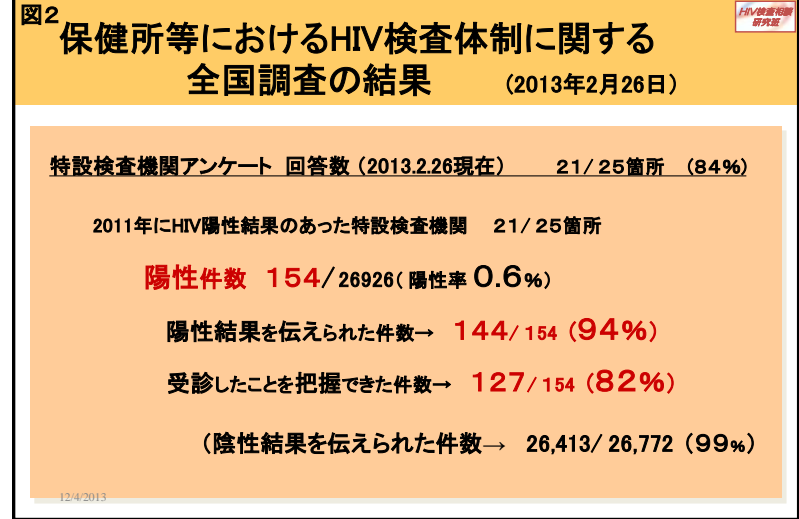
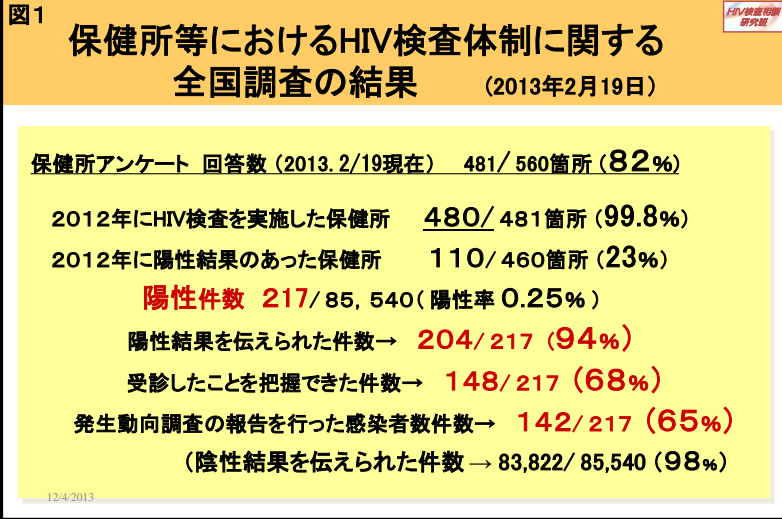
HIV 検査と同時に肝炎ウイルス検査も行っている保健所での事例で、HIV 検査、肝炎ウイルス (B 型、C 型) 検査、全ての検査が陰性で、受検者には陰性の結果説明を行い問題はなかったが、その際に、他の受検者の結果通知書を渡してしまったというものであった。いずれも陰性であったため、実害はなかったが、誤通知の防止のためには、一人一人のより注意深い対応が必要であることを示す貴重な事例と思われる。その後は、結果通知書の番号確認等のチェック体制の強化により、再発防止に努めているとのことであった。

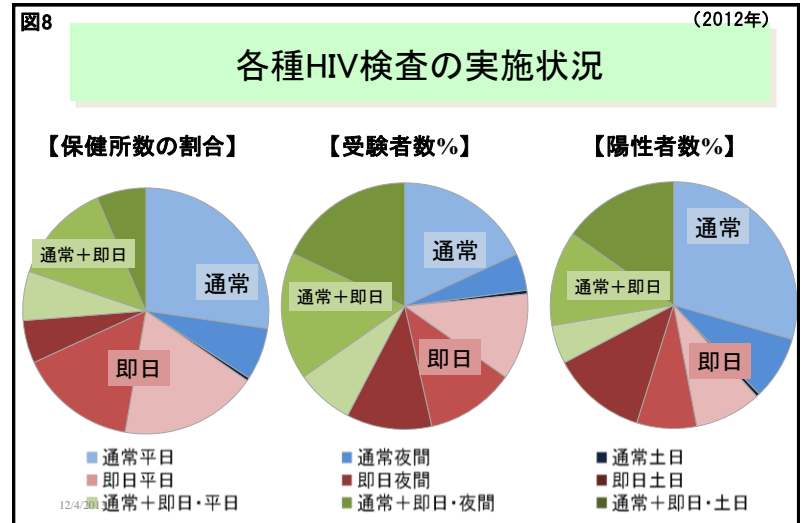
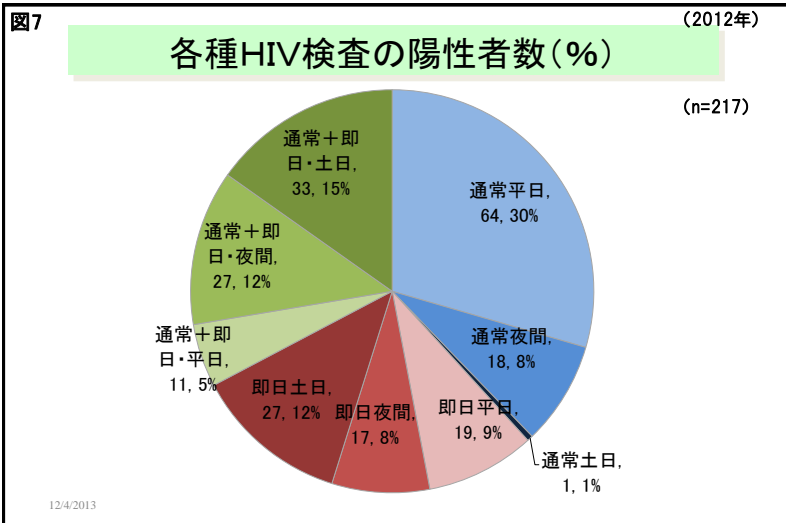
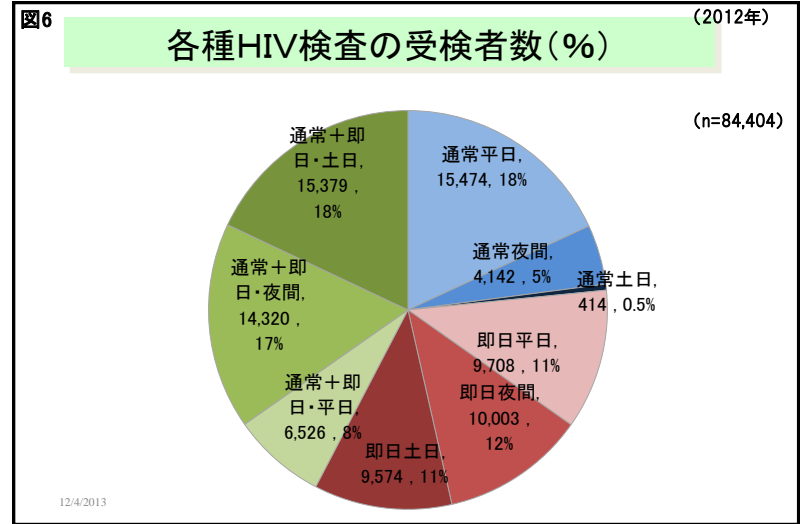
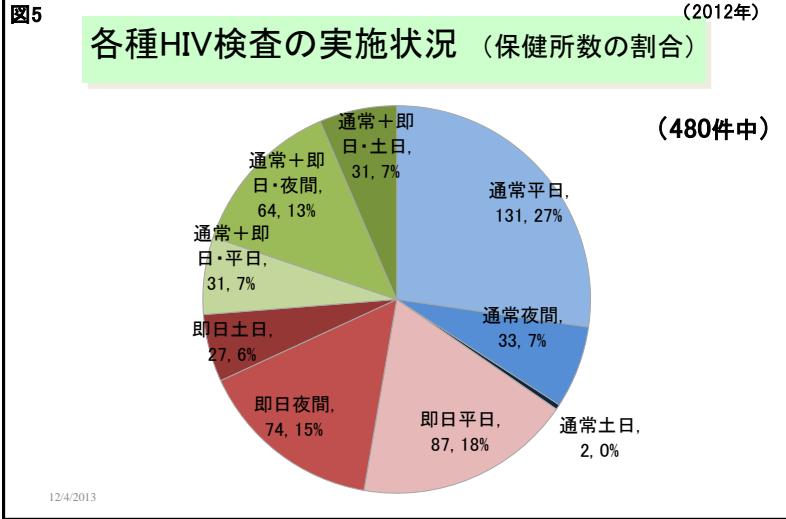
今回の調査では、HIV 検査と同時に、HIV 以外の性感染症検査を行っている保健所が 83%あり、B 型、C 型の肝炎ウイルス検査を同時に実施している保健所も 70%を超えている。このため、検査とその結果返しに関しては、より慎重な対応が必要となっており、誤通知の防止のためには、システム全体の見直しとともに、一人一人のより注意深い対応が求められている。

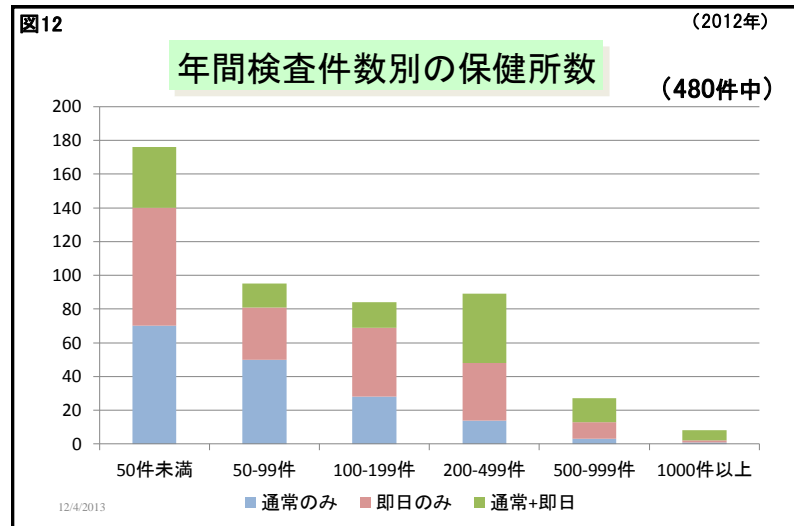
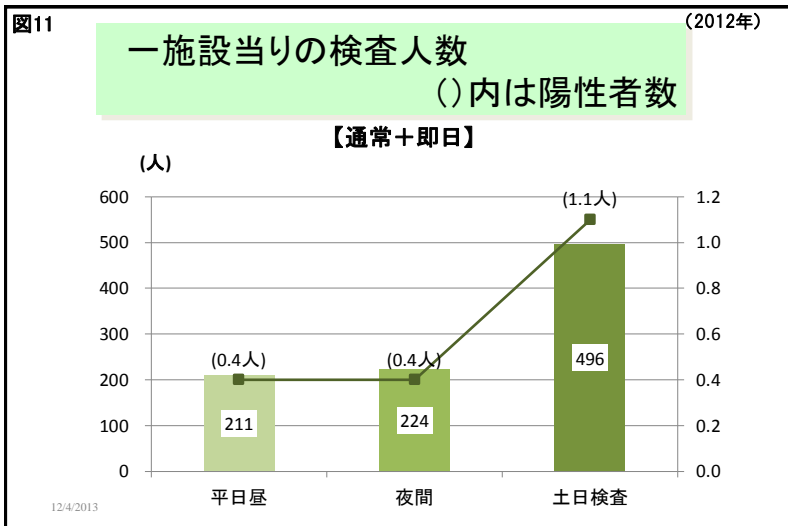
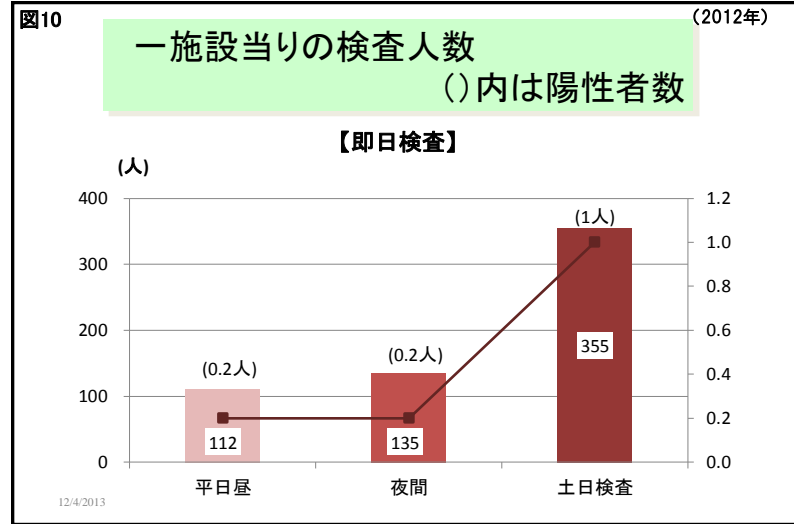
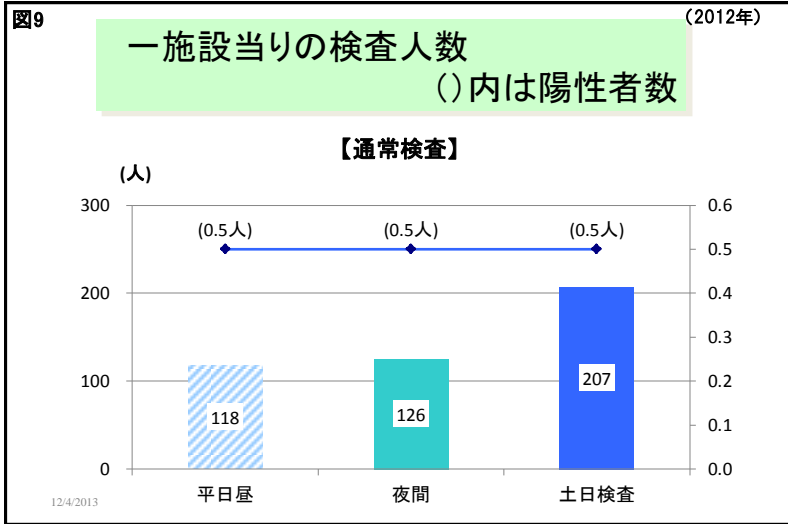
誤通知の発生は、当事者への影響とともに、HIV 検査相談事業全体への信頼に大きな影響を及ぼすため、その再発防止に向けての取り組みは、HIV 検査相談の利便性を高める取り組みと共に、極めて重要な課題である。本研究班においても、アンケート調査による実態把握を続けるとともに、情報提供やマニュアルの作成・普及を通じて、検査相談体制の充実に向けてさらに寄与できるよう努めて行きたい。

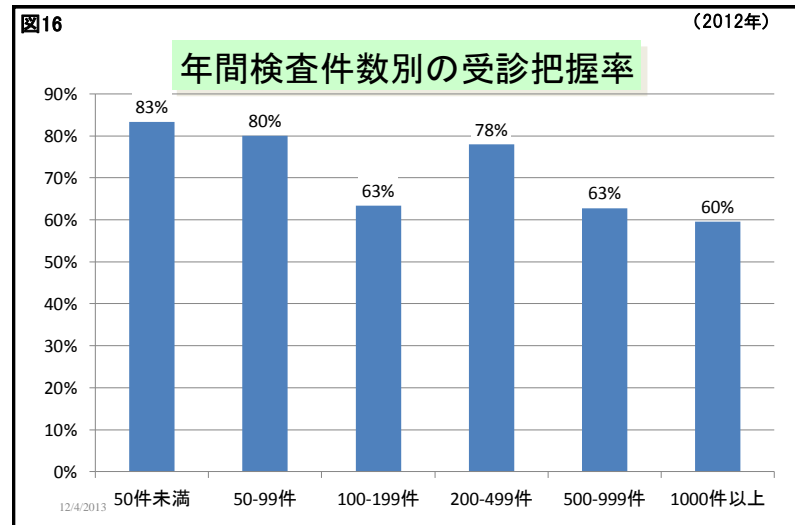
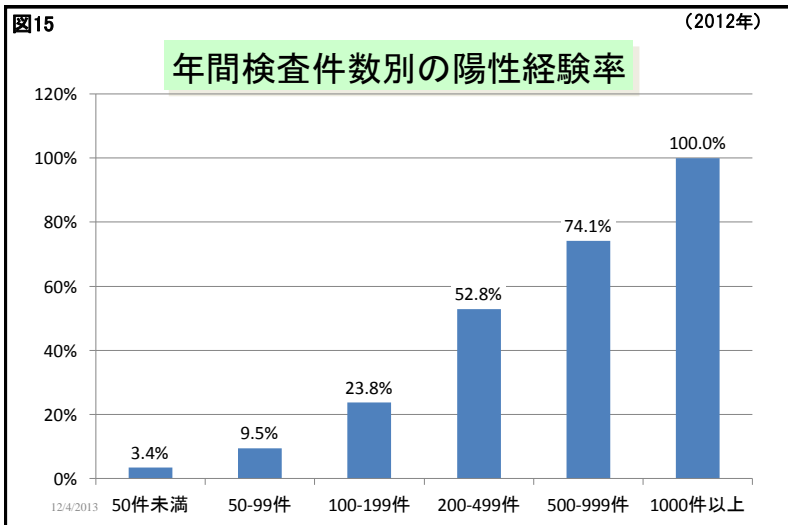
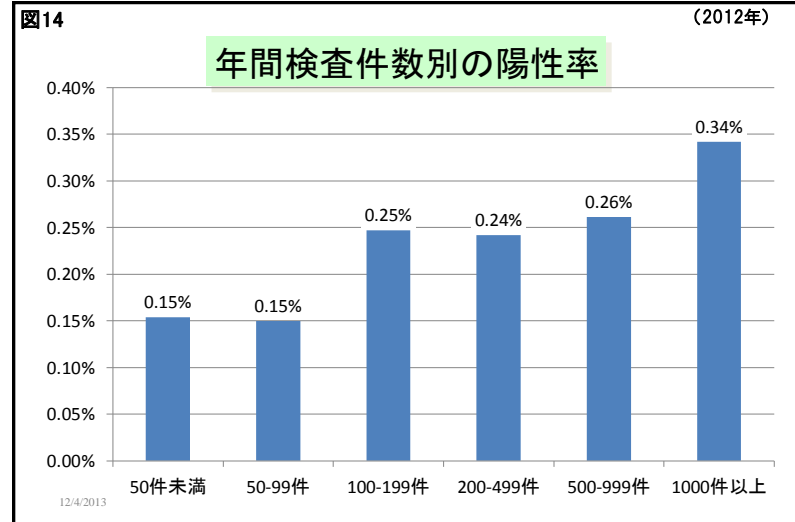
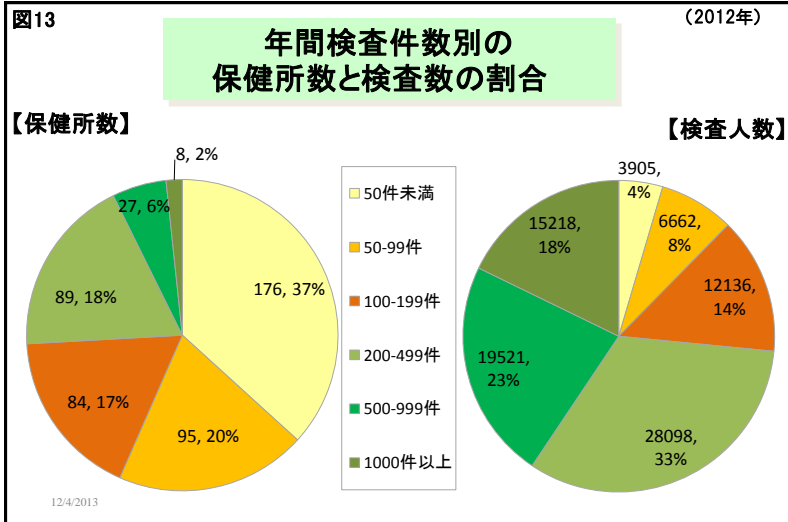
謝辞

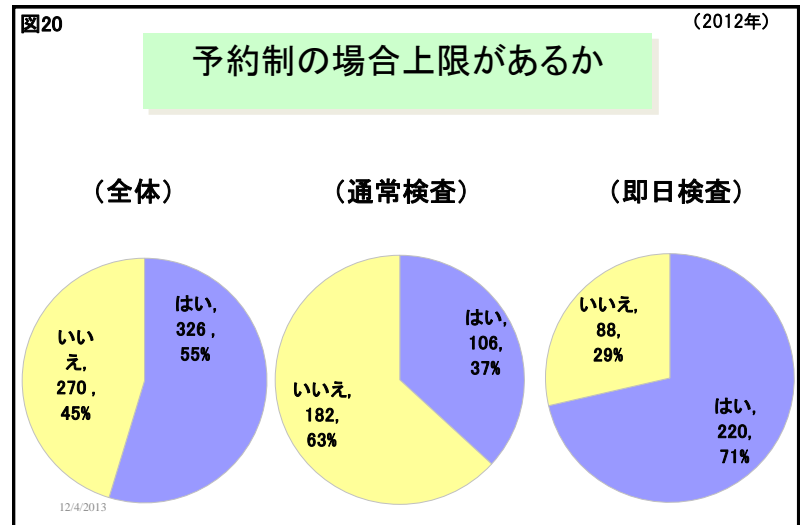
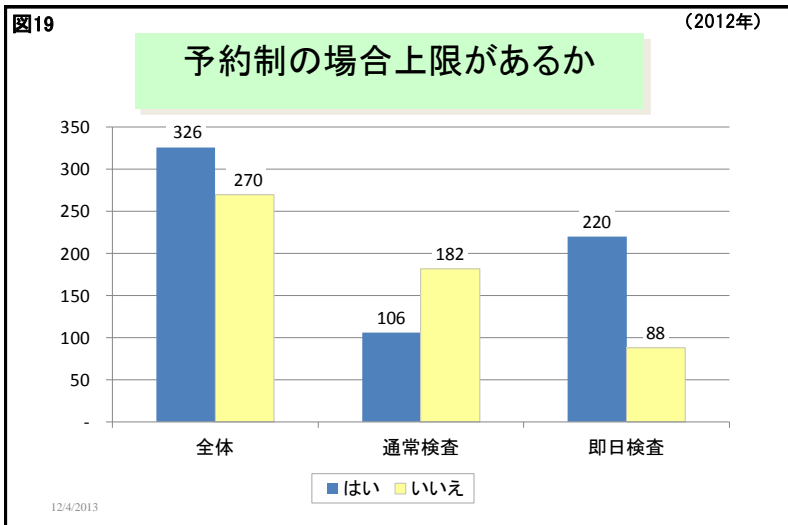
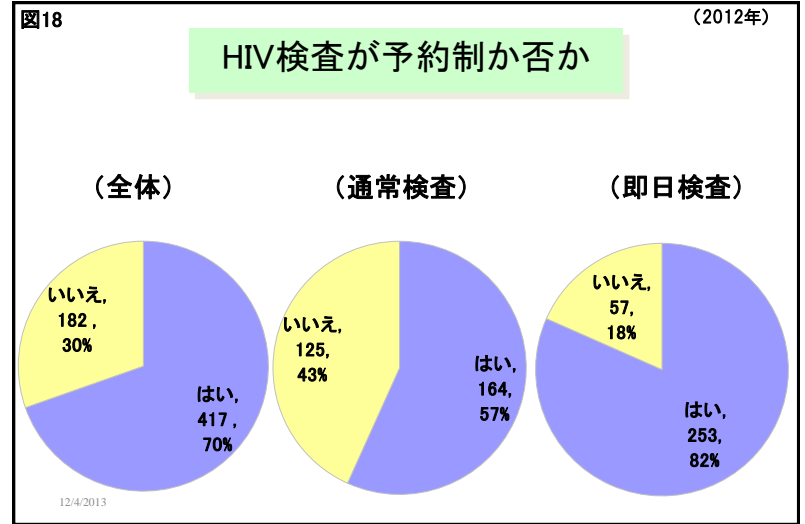
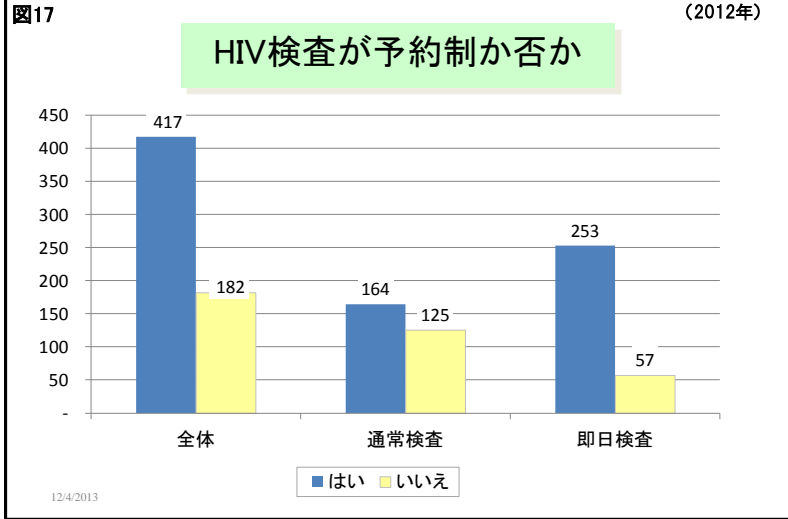
保健所の様々な業務で忙しい中、アンケート調査にご協力頂いた全国の保健所等関係者の皆様方に深く感謝致します。

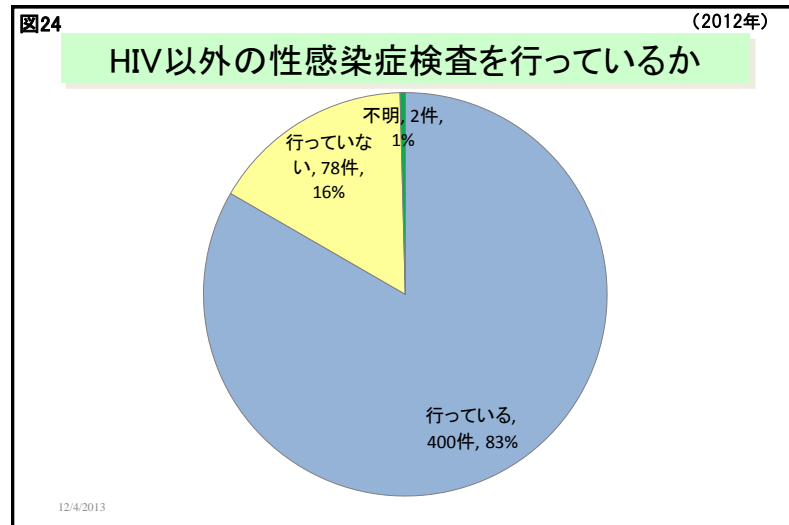
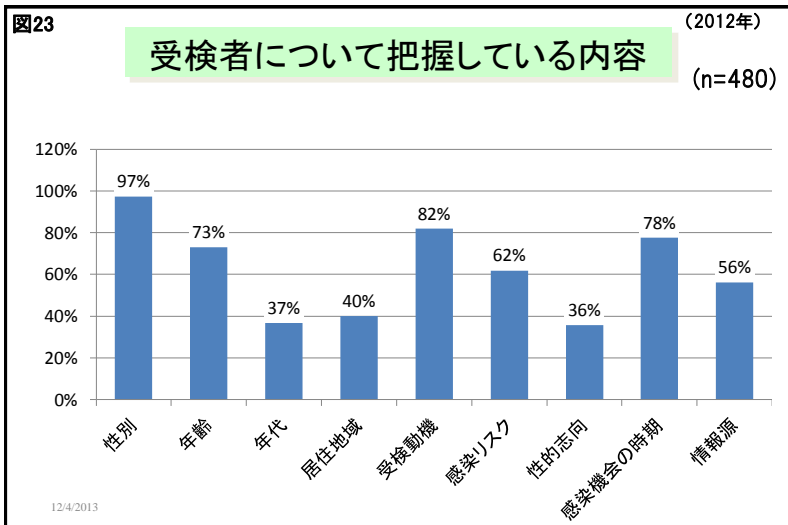
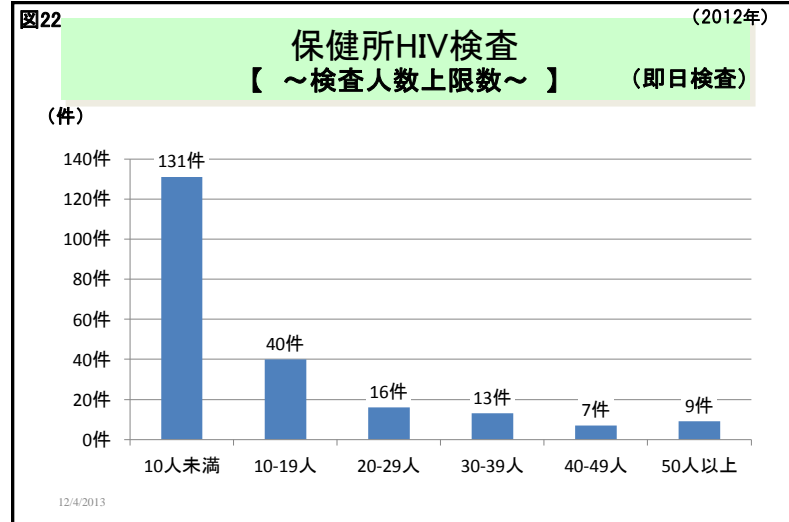
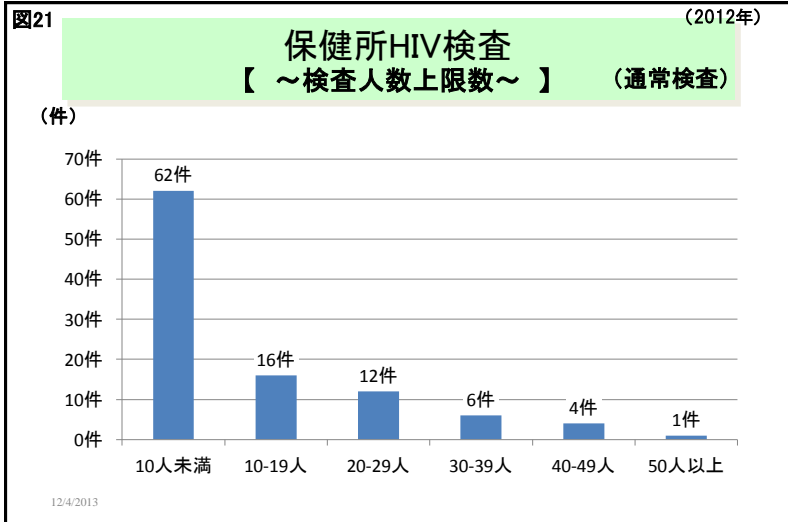


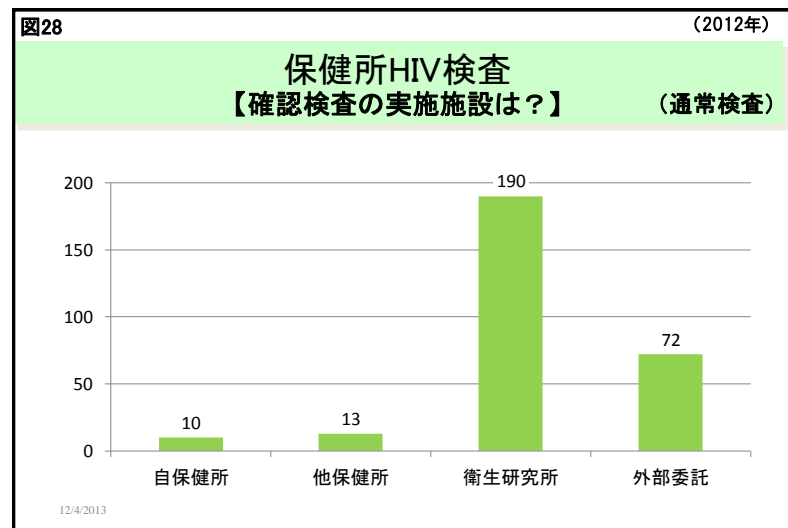
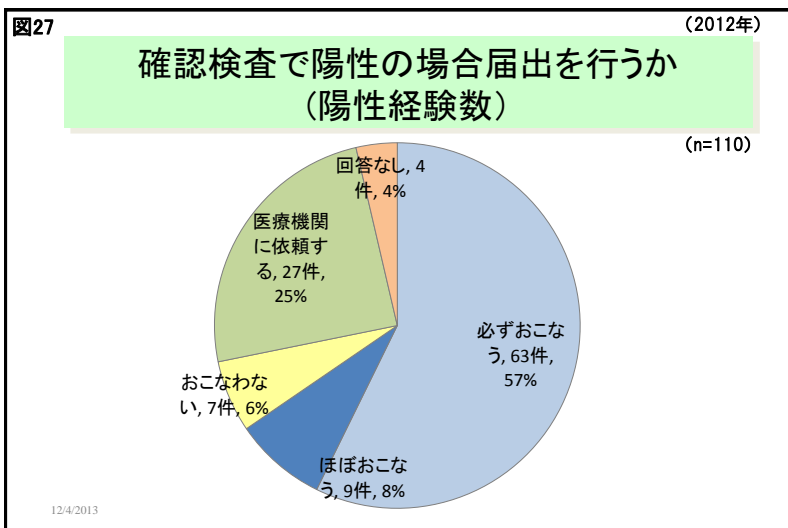
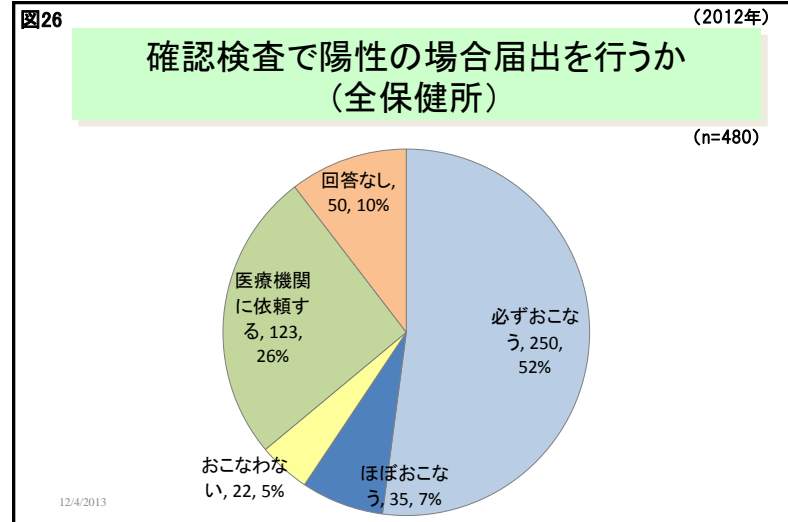
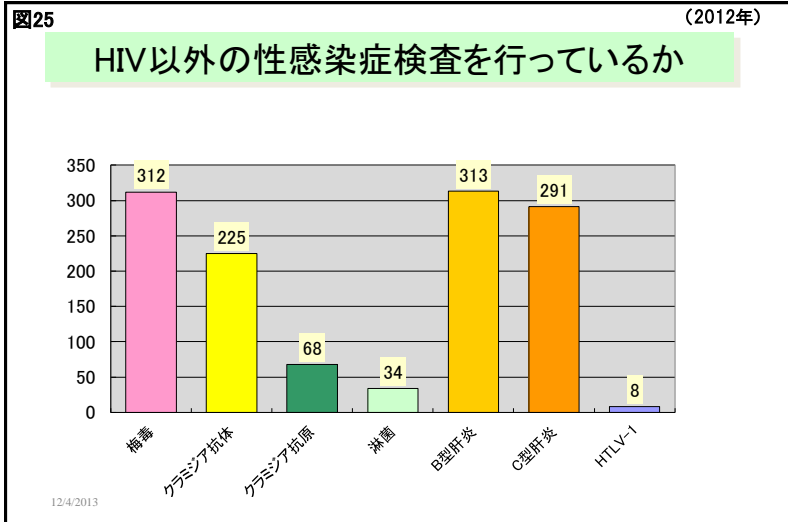


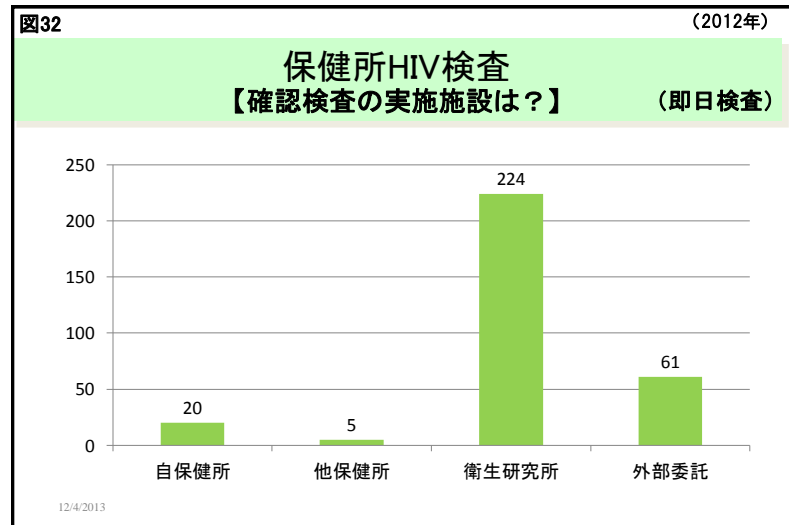
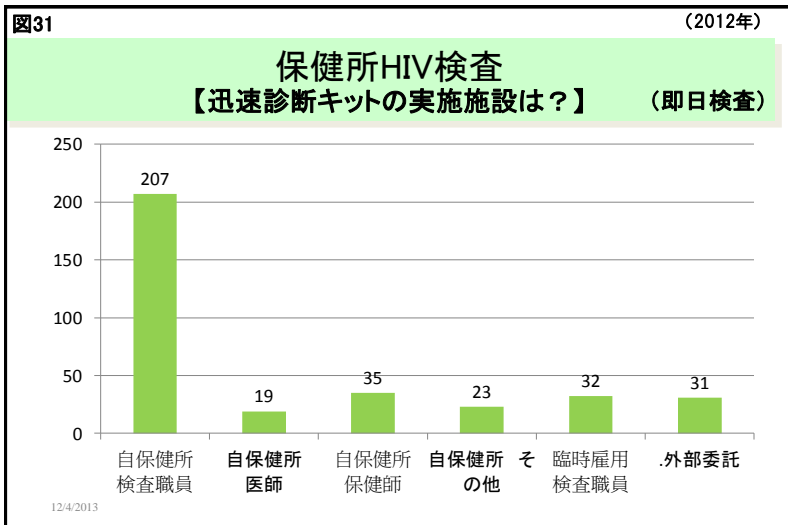
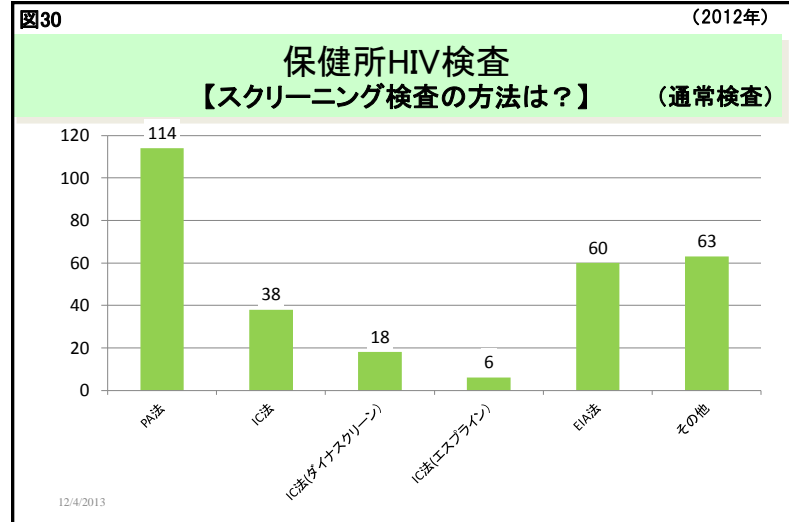
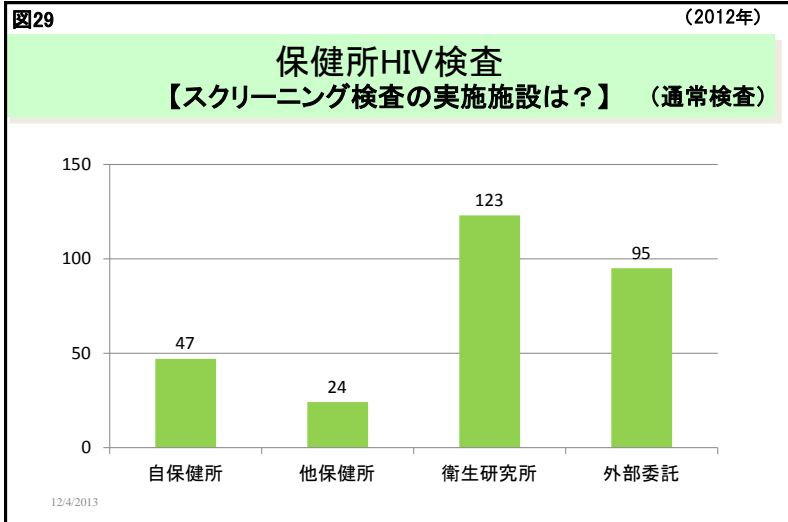


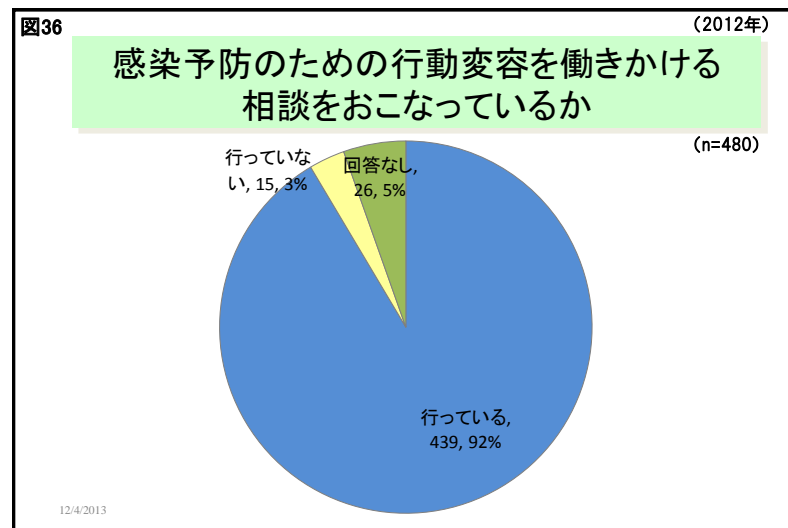
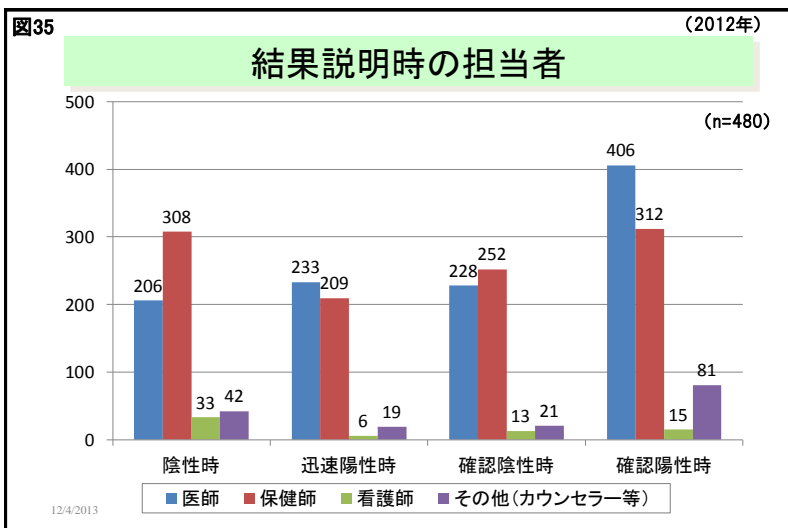
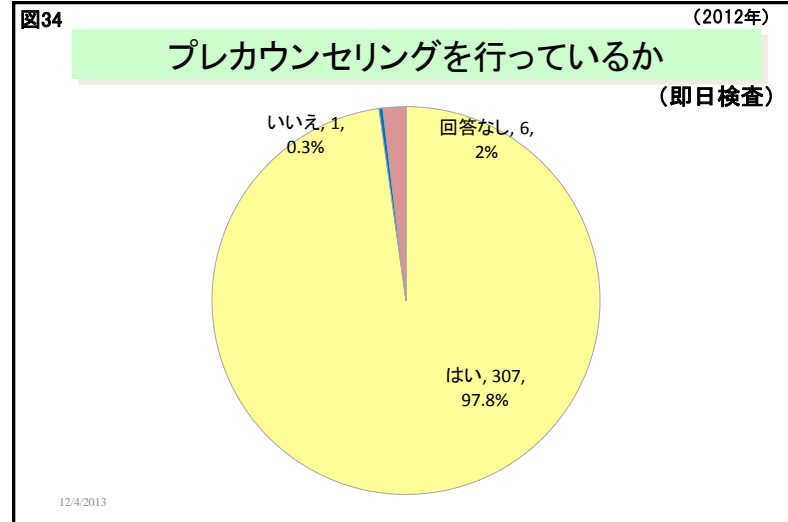
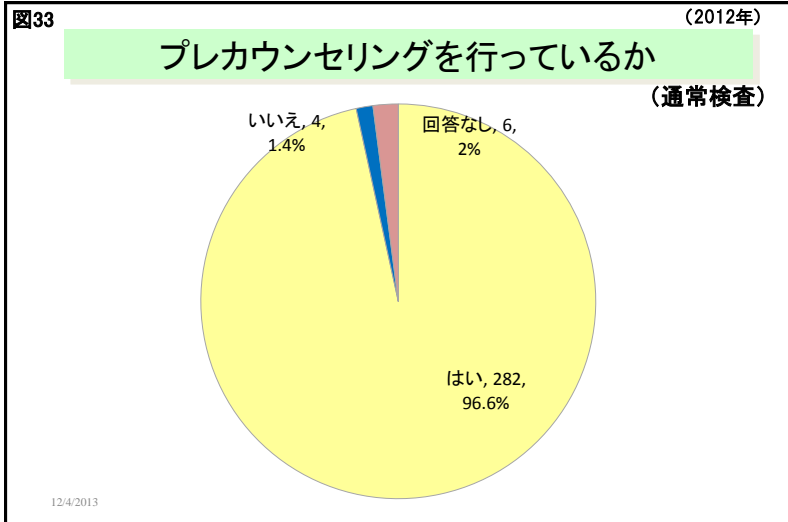


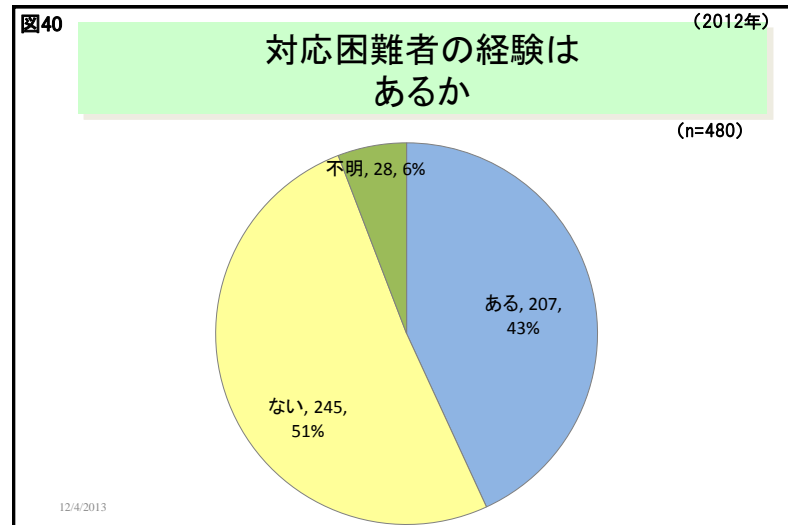
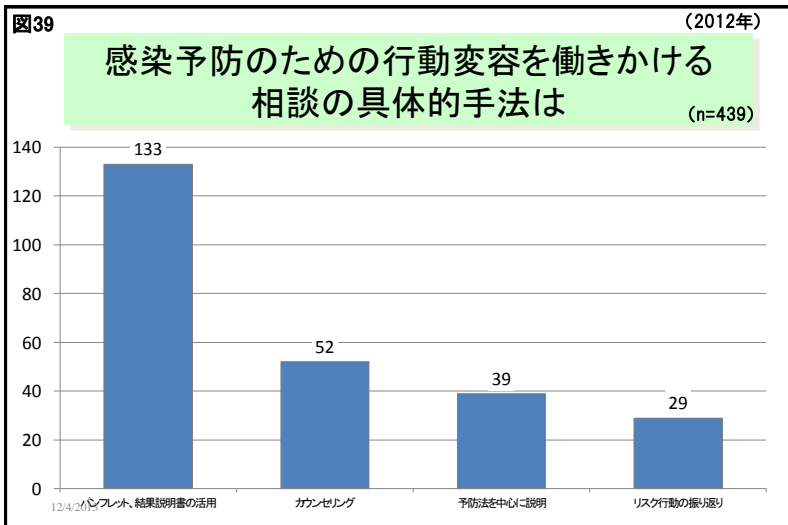
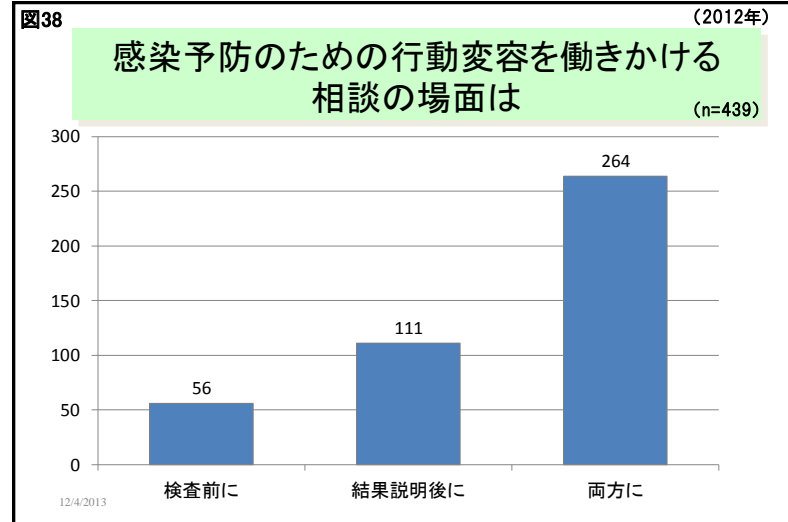
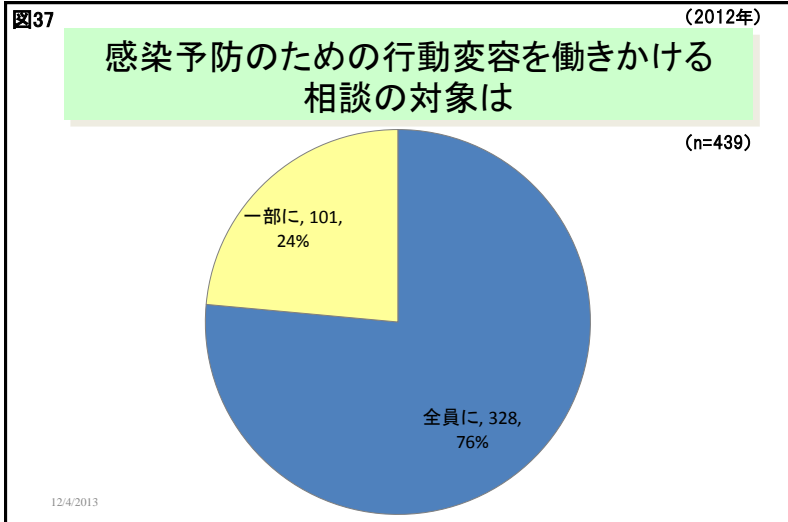


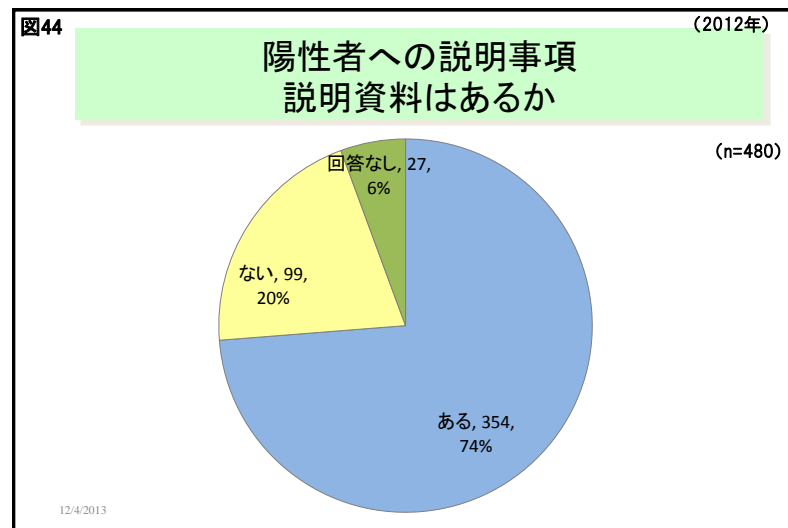
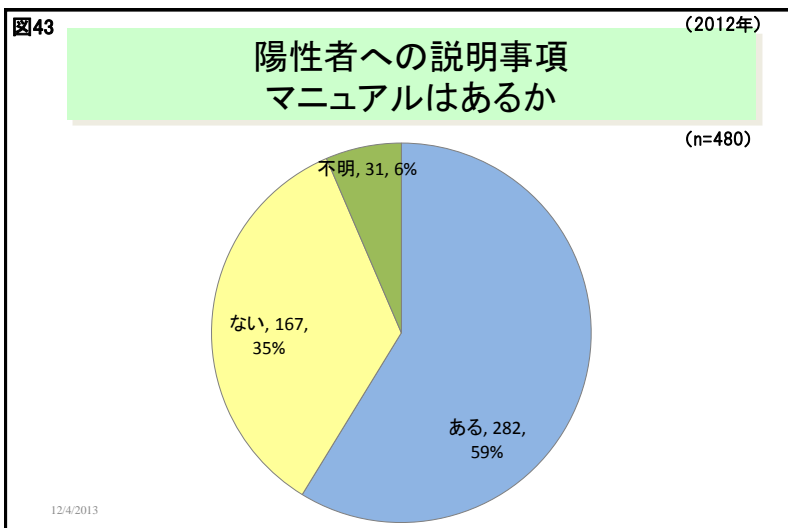
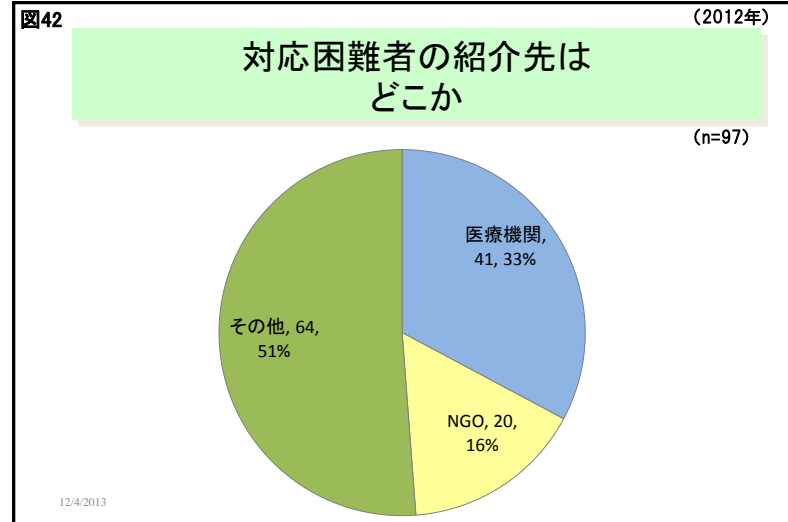
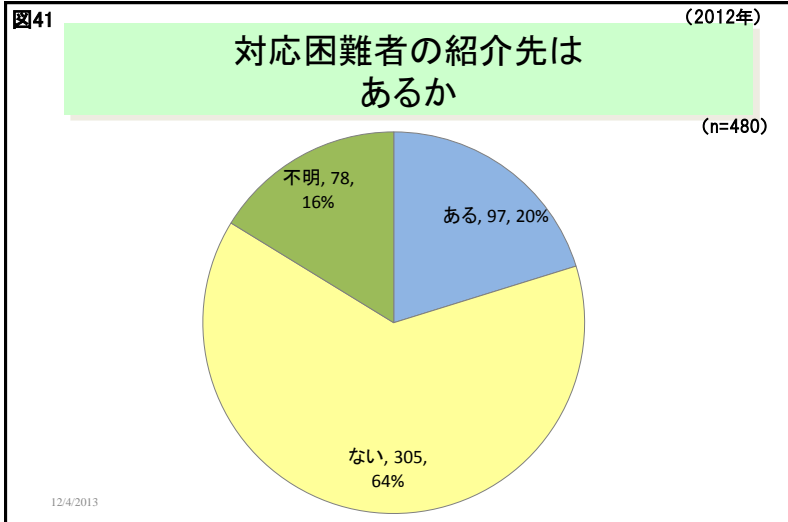












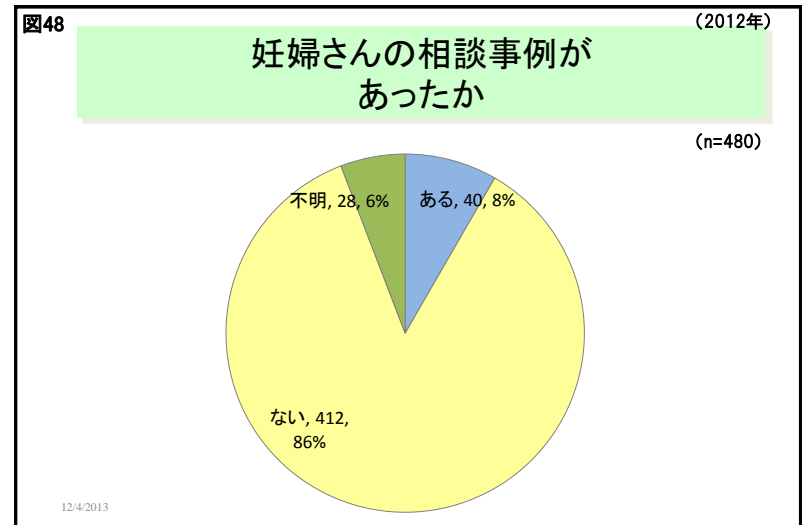
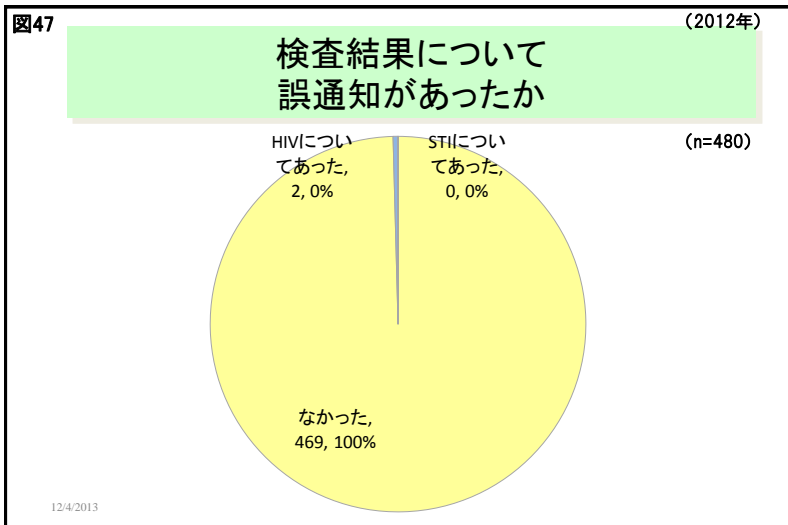
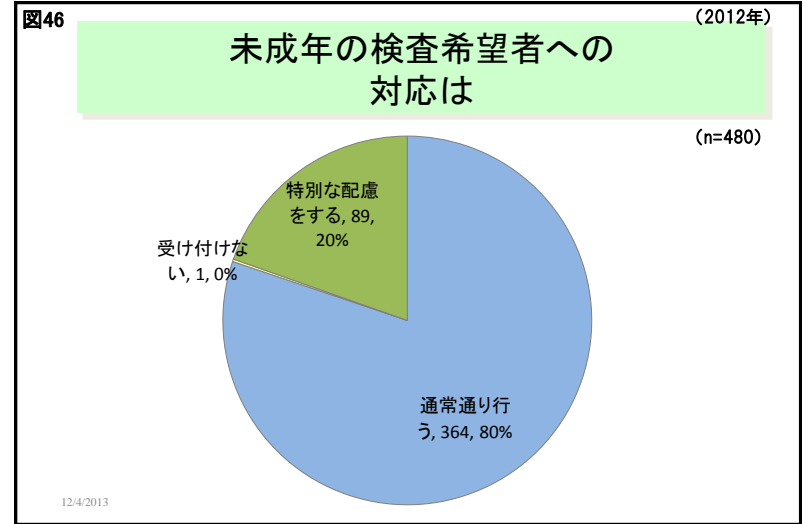
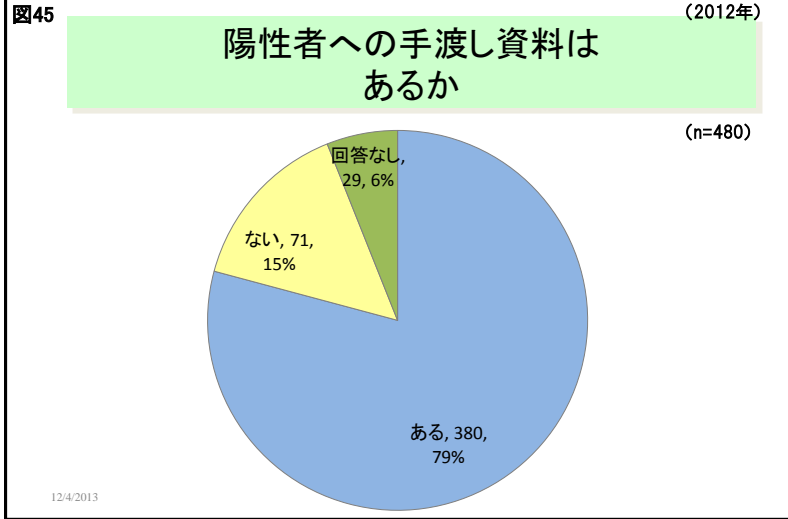
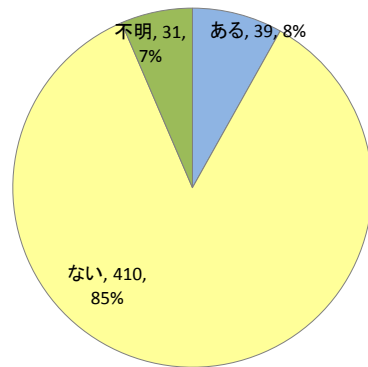


図49

(2012年)

妊婦さんの受検が あったか

(n=480)



1. 貴保健所ではHIV検査相談を行っていますか？

(n=481)

アンケート送付数
回収数

585
481

82%

はい	480件	99.8%
いいえ	1件	0.2%

「はい」と答えた保健所 → 平成24年1～12月の実施状況をお教え下さい。(n=480)

① HIV検査件数

検査数	85,540人
うち陽性数	217人
陽性率	0.25%

陽性経験数

陽性者があった保健所	110件	23.1%
陽性者がなかった保健所	367件	76.9%
回答なし	3件	

年間検査件数別保健所数

年間検査数	保健所数	検査件数	陽性数	陽性率	陽性経験率	陽性経験数		
50件未満	176	36.7%	3,905	4.6%	6	0.15%	3.4%	6
50-99件	95	19.8%	6,662	7.8%	10	0.15%	9.5%	9
100-199件	84	17.5%	12,136	14.2%	30	0.25%	23.8%	20
200-499件	89	18.6%	28,098	32.8%	68	0.24%	52.8%	47
500-999件	27	5.6%	19,521	22.8%	51	0.26%	74.1%	20
1000件以上	8	1.7%	15,218	17.8%	52	0.28%	100.0%	8
回答なし	1	0.2%						

② HIV検査結果を聞きにこなかった受検者数: 1,514人 (1.77%)

③ HIV検査での結果確認 (陰性者、陽性者別):

	陰性		陽性	
結果を聞きにきた	83,822人	98.2%	204人	94.0%
結果を聞きにこなかった	1,501人	1.8%	13人	6.0%

④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか？

	全体		陽性経験保健所	
ある	229	47.7%	75件	68.2%
ない	227	47.3%	34件	30.9%

(n=110)

⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: 148人 (68.2%)

⑥ 発生動向調査の報告を行ったHIV感染者数 135人 (62.2%)

2. 貴保健所で行っているHIV検査相談事業の内容について教えて下さい。

① HIV検査と同時にHIV以外の性感染症検査を行っていますか？

行っている	400件	83.3%
行っていない	78件	16.3%
不明	2件	0.4%

「行っている」と答えた保健所 → 実施している性感染症検査項目に丸をしてください。(n=400)

梅毒	312	78.0%
クラミジア抗体	225	56.3%
クラミジア抗原	68	17.0%
淋菌	34	8.5%
B型肝炎	313	78.3%
C型肝炎	291	72.8%
HTLV-1	8	2.0%
その他	4	1.0%

② 定期的に行っているHIV検査の実施曜日と実施時間をご記入下さい。(n=480)

通常検査のみ	166	34.6%
即日検査のみ	188	39.2%
通常+即日	126	26.3%

平日昼のみ検査	249	51.9%
平日夜間検査	171	35.6%
土日検査	60	12.5%

通常のみ+平日昼のみ	131	27.3%
通常のみ+夜間も行っている	33	6.9%
通常+土日検査も	2	0.4%
即日のみ+平日昼のみ	87	18.1%
即日のみ+夜間も行っている	74	15.4%
即日+土日検査も	27	5.6%
通常+即日・平日昼のみ	31	6.5%
通常+即日・夜間も行っている	64	13.3%
通常+即日・土日検査も	31	6.5%

② ア通常検査の場合 (n=292)

A. 予約制ですか？

はい	164	56.2%
いいえ	125	42.8%

B. 1回あたり上限はありますか？ (n=292)

はい	106	36.3%
いいえ	182	62.3%
回答なし	4	1.4%

上限がある場合、平均人数と分布

	通常	即日
平均数		
10人未満	62件	131件
10-19人	16件	40件
20-29人	12件	16件
30-39人	6件	13件
40-49人	4件	7件
50人以上	1件	9件

C. プレカウンセリングを行っているか？

はい	282	96.6%
いいえ	4	1.4%
回答なし	6	2.1%

D. 結果返しは？

1週間後	199	68.2%
2週間後	72	24.7%
その他	18	6.2%

E. スクリーニング検査 実施施設は？

自保健所	47	16.1%
他保健所	24	8.2%
衛生研究所	123	42.1%
外部委託	95	32.5%

F.スクリーニング検査の方法は？

PA法	114	39.0%
IC法	38	13.0%
IC法(ダイナスクリーン)	18	6.2%
IC法(エスプライン)	6	
EIA法	60	20.5%
その他	63	21.6%

G.確認検査の実施施設は？

自保健所	10	3.4%
他保健所	13	4.5%
衛生研究所	190	65.1%
外部委託	72	24.7%

H.検査用政治の結果通知と確認検査検体は？

a.受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する	27	9.2%
b.スクリーニング検査の残検体で確認検査まで実施し、受検者には確認検査結果を通知する	234	80.1%
その他	23	7.9%

② イ即日検査の場合

(n=314)

A.予約制ですか？

はい	253	80.6%
いいえ	57	18.2%

B. 1回あたり上限はありますか？

はい	220	70.1%
いいえ	88	28.0%

上限がある場合、平均人数と分布

平均数	
10人未満	131件
10-19人	40件
20-29人	16件
30-39人	13件
40-49人	7件
50人以上	9件

C.プレカウンセリングを行っているか？

はい	307	97.8%
いいえ	1	0.3%
回答なし	6	1.9%

D.迅速検査で陽性(要確認検査)となった場合の結果返しは？

1週間後	171	54.5%
2週間後	104	33.1%
その他	26	8.3%
回答なし	13	4.1%

E.迅速診断キットの検査実施は？

a.自保健所 検査職員	207	65.9%
a.自保健所 医師	19	6.1%
a.自保健所 保健師	35	11.1%
a.自保健所 その他	23	7.3%
b.臨時雇用 検査職員	32	0.0%
b.臨時雇用 医師	0	0.0%
b.臨時雇用 保健師	0	1.0%
b.臨時雇用 その他	3	9.9%
c.外部委託	31	0.0%

F. 確認検査 実施施設は？

自保健所	20	6.4%
他保健所	5	1.6%
衛生研究所	224	71.3%
外部委託	61	19.4%

G. 確認検査用 検体は？

迅速検査残血液	229	72.9%
確認検査用再採血	57	18.2%
血漿	14	4.5%
血清	42	13.4%

③ 受検者について把握している内容は？

(n=480)

性別	467	97.3%
年齢	350	72.9%
年代	176	36.7%
居住地域	192	40.0%
受検動機	393	81.9%
感染リスク	297	61.9%
性的志向	171	35.6%
感染機会の時期	372	77.5%
情報源	270	56.3%
その他	74	15.4%

上記の内容について事業改善等に活用していますか。

(n=480)

活用している	264	55.0%
活用していない	161	33.5%

④ 結果説明等について

A. 結果説明時の担当者

	陰性時		迅速陽性時		確認陰性		確認陽性時	
記入数	456		279		349		410	
医師	206	45.2%	233	83.5%	228	65.3%	406	99.0%
保健師	308	67.5%	209	74.9%	252	72.2%	312	76.1%
看護師	33	7.2%	6	2.2%	13	3.7%	15	3.7%
その他(カウンセラー等)	42	9.2%	19	6.8%	21	6.0%	81	19.8%

迅速検査陽性時、手渡し資料がありますか？

ある	238件	49.6%
ない	42件	8.8%
無回答	200件	41.7%

B. 陽性者への説明事項のマニュアルがありますか？

ある	282件	58.8%
ない	167件	34.8%
不明	31件	6.5%

C. 陽性者への説明資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=110)	
ある	354件	73.8%	90件	81.8%
ない	99件	20.6%	15件	13.6%
回答なし	27件	5.6%	5件	4.5%

D. 陽性者への手渡し資料はありますか？

	全体		陽性経験保健所(n=110)	
ある	380件	79.2%	98	89.1%
ない	71件	14.8%	8	7.3%
回答なし	29件	6.0%	4件	3.6%

E. 確認検査で陽性の場合には届出をおこなっていますか？

	全体		陽性経験保健所(n=110)	
必ずおこなう	250件	52.1%	63件	57.3%
ほぼおこなう	35件	7.3%	9件	8.2%
おこなわない	22件	4.6%	7件	6.4%
医療機関に依頼する	123件	25.6%	27件	24.5%
回答なし	50件	10.4%	4件	3.6%

F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をおこなっていますか？ (n=480)

行っている	439	91.5%
行っていない	15	3.1%
回答なし	26	8.3%

対象は？ (n=439)

全員に	328	74.7%
一部に	101	23.0%

場面は？

検査前に	56	12.8%
結果説明後に	111	25.3%
両方に	264	60.1%

具体的手法は？

パンフレット、結果説明書を活用	133	30.3%
カウンセリング	52	11.8%
予防法を中心に説明	39	8.9%
リスク行動の振り返り	29	6.6%

G. 対応困難者の経験はありますか？

ある	207件	43.1%
ない	245件	51.0%
不明	28件	5.8%

対応困難者の紹介先はありますか？ (n=480)

ある	97件	20.2%
ない	305件	63.5%
不明	78件	16.3%

「ある」と答えた保健所→紹介先は？(複数回答あり) (n=97)

医療機関	41件	42.3%
NGO	20件	20.6%
その他	64件	66.0%

H. 昨年1年間に妊婦さんの相談事例はありましたか？ (n=480)

ある	40件	8.3%
→1件	26件	
→2~4件	5件	
→5件~	1件	
ない	412件	85.8%
不明	28件	5.8%

I. 昨年1年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？

ある	39件	8.1%
→1件	24件	
→2~4件	4件	
→5件~	2件	
ない	410件	85.4%
不明	31件	6.5%

J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？ (n=480)

通常通り行う	364件	75.8%
受け付けない	1件	0.2%
特別な配慮をする	89件	18.5%
→陽性時には親にも説明	33件	37.1%
→保護者の同意を得られているか	15件	
→保護者同伴	13件	14.6%

⑤ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて (n=480)

昨年1月以降にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して誤った結果を通知したことはありますか？

なかった	469	97.7%
HIVについてあった	2	0.4%
STIIについてあった	0	0.0%

保健所における HIV 検査・相談体制に関する調査

このアンケートは、保健所における HIV 検査・相談(HIV 検査と同時に性感染症検査を含む)および結果通知の体制を把握し、今後の HIV 検査・相談の更なる向上の参考とするために実施します。ご協力をよろしくお願いいたします。なお、一つの保健所が複数の HIV 検査施設(保健センター、委託の検査相談等)を管轄する場合には、この用紙をコピーして頂き、施設毎にアンケートにお答えいただくようお願いいたします。

(アンケート集計結果は毎年、研究班の報告書としてまとめ報告するとともに、学会・学会誌等に発表します。原則として発表データは集計結果のみを使用し、個別の保健所が分かる形では、特別に許可を得た場合を除き公表することはありません。)

保健所名: _____ 所属: _____
 連絡担当者名: _____ 職種: 医師・保健師・事務・その他()
 連絡先: TEL _____ FAX _____ E-mail _____

1. 貴保健所では HIV 検査相談を行っていますか? (はい ・ いいえ)

「はい」と答えた保健所 → 平成 24 年 1~12 月の実施状況をお教え下さい。

- ① HIV 検査件数: 検査数 _____ 件 スクリーニング検査で陽性 _____ 件 確認検査陽性 _____ 件
 ② HIV 検査の結果を聞きにこなかった受検者数: _____ 件
 ③ ②の中で、HIV 検査が陽性で結果を聞きにこなかった数: _____ 件
 ④ 陽性者が医療機関を受診したかどうか分かる仕組みがありますか? (ある ・ ない)
 「ある」と答えた保健所 → 具体的に教えて下さい()
 ⑤ 医療機関を受診したことを把握できている陽性者数: _____ 件
 ⑥ 確認検査陽性中、感染症発生動向調査の届出を行った HIV 感染者数 _____ 件

2. 貴保健所で行っている HIV 検査相談事業の内容について教えてください。

① HIV 検査相談を行っている曜日と時間をご記入下さい。

(例) (通常(即日)(定期)イベント)検査: (火曜日・月)年) 4 回 受付時間: 13:00 ~ 15:00
 (通常・即日)(定期・イベント)検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____
 (通常・即日)(定期・イベント)検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____
 (通常・即日)(定期・イベント)検査: _____ 曜日/(月・年) _____ 回 受付時間: _____ : _____ ~ _____ : _____

② HIV 検査事業の中で HIV 検査と一緒に HIV 以外の性感染症検査を行っていますか?

(行っていない ・ 行っている → (毎回 ・ イベント(年 回))

「行っている」と答えた保健所 → 一緒に実施している性感染症検査項目に○をしてください。

(梅毒 ・ クラミジア抗体 ・ クラミジア抗原 ・ 淋菌 ・ B型肝炎 ・ C型肝炎 ・ その他 _____)

A. 通常検査を行っている場合

- A. 予約制ですか? (はい ・ いいえ)
 B. 1回あたり上限数がありますか? (はい → ()人 ・ いいえ)
 C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか? (はい ・ いいえ)
 D. 結果返しは? (1週間後 ・ 2週間後 ・ _____ 日後以降)
 E. スクリーニング検査実施施設は?
 (自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託(機関名: _____))
 F. スクリーニング検査の方法は?
 (PA 法 ・ IC 法(ダイナスクリーン、エスプライン) ・ EIA 法) ・ その他(_____))
 G. 確認検査の実施施設は?
 (自保健所 ・ 他保健所 ・ 衛生研究所 ・ 外部委託(機関名: _____))
 H. 検査陽性時の結果通知と確認検査検体について当てはまるものに○を付けてください。
 a. 受検者にはスクリーニング検査の陽性結果を通知し、確認検査用に再採血し、確認検査を実施する。
 b. スクリーニング検査の残検体で確認検査まで実施し、受検者には確認検査結果を通知する。
 c. その他(_____)

イ. 即日検査を行っている場合

- A. 予約制ですか？ (はい・いいえ)
- B. 1回あたり上限数がありますか？ (はい ()人・いいえ)
- C. 検査前に説明や相談(プレカウンセリング)を行っていますか？ (はい・いいえ)
- D. 迅速検査で陽性となった場合の確認検査の結果返しは？ (1週間後・2週間後・___日後以降)
- E. 迅速診断キットの検査実施は？
- a. 自保健所職員 (検査担当職員・医師・保健師・その他_____)
- b. 臨時雇用 (検査担当職員・医師・保健師・その他_____)
- c. 外部委託 (機関名_____)
- F. 確認検査の実施施設は？
- (自保健所・他保健所・衛生研究所・外部委託(機関名:_____))
- G. 確認検査用の検体は？ (迅速検査の残血液・確認検査用に再採血 → (血漿・血清))
- ③ 受検者について把握している内容に○を付けて下さい(複数回答可)。
- (性別・年齢・年代・居住地域・受検の動機・感染リスク・性的指向・感染機会の時期・今回の検査の情報源・その他())
- 集計結果を事業の改善見直しや予算要求等に活用していますか？ (している・していない)
- ④ 結果説明・相談等について教えてください。H24年4月に体制等が変わった場合は変更後をご記入下さい。
- A. 結果説明時の1事業実施回当たりの担当者は？
- * 該当箇所の□にレ点を付け、合計人数を記入、担当職種に○を付け、職種別の人数をご記入下さい。
- 「陰性結果通知」→ (人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他() (人))
- 「迅速検査陽性通知」→ (人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他() (人))
- 「確認検査陰性通知」→ (人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他() (人))
- 「確認検査陽性通知」→ (人：医師(人)・保健師(人)・看護師(人)・その他() (人))
- 「迅速検査陽性」時の説明体制(例:、医師が結果を説明し、保健師が相談先などを説明)
- 具体的には？ ()、手渡し資料は？(ある・ない)
- 「確認検査陽性」時の説明体制(例:医師が結果と医学的説明、保健師が他の説明、臨床心理士が相談)
- 具体的には？ ()
- B. 陽性者への説明事項に関するマニュアルがありますか？ (ある・ない)
- C. 陽性者への説明資料はありますか？ (ある(具体的に:)・ない)
- D. 陽性者に手渡し資料はありますか？ (ある(具体的に:)・ない)
- E. 確認検査で陽性の場合には感染症発生動向調査の届出を行いますか？
- (必ず行う・ほぼ行う・行わない・紹介先医療機関に依頼する)
- 「行わない」or「紹介先医療機関に依頼する」を選択した場合、理由を教えてください。
- (理由:)
- F. 感染予防のための行動変容を働きかける相談をしていますか？ (している・していない)
- 「している保健所」→ 対象は？(全員・一部)、場面は？(検査前・結果説明後・両方)
- 具体的手法は？(具体的に:)
- G. 対応困難者(不安神経症、リスク行動を繰り返す人等)の経験はありますか？ (ある・ない)
- 対応困難者の紹介先はありますか？ (ある・ない)
- 「ある」と答えた保健所 →(紹介先全てに○: 医療機関(診療科)・NGO・その他)
- H. 昨年1年間に妊婦さんからの相談事例はありましたか？(ある(件)・ない)
- I. 昨年1年間に妊婦さんの検査受検はありましたか？ (ある(件)・ない)
- J. 未成年の検査希望者への対応はどのようにしていますか？
- (通常通り行う・受け付けない・特別な配慮をする→(具体的に:))
- ⑤ HIV検査結果の連絡・受け渡しについて教えてください。
- 昨年1年間にHIV/性感染症検査(無料・匿名)に関して誤った結果を通知したことはありましたか？
- (あった → (HIVについて・性感染症について) ・なかった)
- ⑥ HIV検査相談事業を運営する上で、問題点や課題等がありましたら、余白または別紙にご記入下さい。

ご協力ありがとうございました。

平成25年 1月 5日

各 保 健 所 長 様

厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業
HIV 検査相談の充実と利用機会の促進に関する研究班
(研究代表者 加藤真吾)
研究分担者 今井光信 (田園調布学園大学 教授)

HIV 検査に関するアンケートのお願い (依頼)

厚生労働省の研究事業につきましては、日ごろ格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年度、全国保健所長会のご協力を得て行った、「保健所における HIV 検査体制に関する全国調査」の際には、大変お忙しい中にも関わらず、ご協力を頂き誠にありがとうございました。アンケート調査結果につきましては、全国保健所長会のサイト【トップページ→保健所長会の活動報告(アーカイブ)→2012.12.20 HIV 検査相談に関する全国保健所アンケート(<http://www.phcd.jp/osirase/121220hiv.html>)]に掲載させて頂きましたのでご一読いただければ幸いです。

また、本年度も継続して検査動向を把握するため、再度のアンケート調査を行うことになりました。年度末で大変お忙しいところ恐縮ではありますが、本調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

別紙のアンケート用紙にご回答の上、平成25年 1月25日(金)までに、返信用封筒にてご返信いただくようお願い申し上げます。また、一つの保健所で複数の HIV 検査相談施設(保健所支所、保健センター等)を管轄している場合には、大変申し訳ありませんが、アンケート用紙をコピーの上、各施設単位でアンケートのご回答をいただけますようよろしくお願い致します。

なお、本調査は全国保健所長会のご了解を得て行っており、別途メールにおいてもご案内しております。本年度の本調査用紙へのご回答は、郵送でのご送付をお願い致します。

記

- 1 調査目的 保健所における HIV 検査(HIV 検査と同時に性感染症検査を含む)の検査体制および結果通知に関する体制の現状を調査する。
- 2 調査票回答者 保健所長 あるいは HIV 検査相談事業担当者
- 3 調査票回答期限 平成25年1月25日(金)
- 4 調査票回答方法
返信用封筒による郵送
宛先 〒215-8542 川崎市麻生区東百合ヶ丘 3-4-1
田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 今井光信
(締め切り期日が迫っている場合、下記のメールアドレス経由でご回答頂いても結構ですが、その場合も返信用封筒による郵送での回答も必ずお願い致します。)
(宛先) Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp

(本調査に関する問い合わせ先)

下記メールにより今井光信宛にお願い致します。

Email: kensahan@m10.alpha-net.ne.jp